

前回定例会（平成20年8月6日）以降の原子力安全・保安院の動き

平成20年9月3日
原子力安全・保安院

1. 柏崎刈羽原子力発電所への現地調査等について

原子力安全・保安院（以下、「保安院」という。）は、8月11日、①6号機の建物・構築物に係る点検・評価の実施状況に対する立入検査及び専門家による現地調査、②発電所敷地内及び敷地近傍における地質・地盤の状況を把握するための保安院担当者及び専門家による現地調査、8月12日、③3号機及び7号機の建物・構築物に係る点検・評価の実施状況に対する立入検査及び専門家による現地調査を実施致しました。

2. F-B断層北方延長における追加調査の実施について

保安院は、8月9日～8月31日、柏崎刈羽原子力発電所周辺海域における活断層評価におきまして、F-B断層北方周辺において、二次元の海上音波探査を実施しました。

3. 新潟県中越沖地震を踏まえ改正される省令（初期消火活動のための体制の整備）を受けた原子炉設置者、加工事業者及び再処理事業者からの保安規定の変更認可申請の認可について

保安院は、8月22日、原子炉等規制法に基づき原子炉設置者より提出された保安規定の変更認可申請に対し、内容を厳格に審査した結果、これを認可しました。本件は、新潟県中越沖地震の際に発生した柏崎刈羽原子力発電所内変圧器の火災に鑑み、原子力施設における初期消火活動の体制の整備を図るため、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則の一部を改正する省令等が6月20日に公布されたことを受けて、各原子炉設置者等から7月11日に保安規定の変更認可申請を受けたものです。

4. 原子力施設等の耐震性評価技術に関する試験及び調査に係る予算要求について

保安院は、新潟県中越沖地震の教訓を踏まえ、耐震安全性の評価・確認方法の強化・高度化を図るため、原子力施設等の耐震性評価技術に関する試験及び調査に係る予算要求を行っています。

5. 柏崎刈羽原子力発電所の蒸気タービンに係る意見聴取会

保安院は、8月25日柏崎刈羽原子力発電所の蒸気タービンに係る意見聴取会を開催し、6・7号機タービン翼の点検結果、破面観察状況、原因調査等に対して専門家から意見を聴取しました。

（ご参考）高速増殖原型炉もんじゅ原子炉施設の工事計画変更届出の受理について

8月20日、（独）日本原子力研究開発機構から、工事計画を変更する旨の届出がありました。本届出は、性能試験（試運転）の開始時期を平成20年10月から平成21年2月に変更したことによるものです。

<中越沖地震における原子力施設に関する調査・対策委員会調査・対策委員会の開催状況>

8月 8日 構造ワーキンググループ（第18回）

8月26日 地震・津波、地質・地盤合同ワーキンググループ（第16回）

（基準地震動の再評価に必要な断層モデルに関する諸元を確認しました。）

27日 設備健全性評価サブワーキンググループ（第13回）

（事業者から7号機の設備機器レベルでの報告案が提示されました。）

9月 2日 構造ワーキンググループ（第19回）

（事業者から7号機の建物・構築物の報告が提示されました。）

<設備点検に係る妥当性確認のための立入検査実績（8月7日～9月3日）>

8月7日、8日、11日、12日、21日 計5回

以上